

特別活動事例Ⅰ 自発的・自治的な活動を通して、社会参画の力を育む授業実践事例

議題「学級の目指す合唱発表会を確認し、それに向けた取組みを考える」

第3学年 (1) - 学級や学校における生活づくりへの参画

ア 学級や学校における生活上の諸問題の解決

合意形成に向けた
話し合い活動の充実

1 議題について

(1) 生徒の実態

本学級は、男子12名、女子19名、計31名の学級である。生徒はこれまで小学校の時から継続的に、グループでの話し合いで自分の意見を述べたり、相手の意見を聞き入れたりして、それに対して自分の考えを述べるという話し合いの機会を経験してきている。

本学級の学級目標は「スクラム」であり、「個人の微力な力も、合わせれば大きな力になる。最後の1年を全員で力を合わせて作り上げよう。」と確認し合い1年がスタートした。休校期間を経て、学校が再開されてから、これまでとは異なる生活様式の中で戸惑う場面もあったが、常に学級目標を意識しながら、最上級生として自分たちができることを実践しようとする態度を持ち続けている。

(2) 議題設定の理由

日常生活や様々な行事が制限される中、学園祭や修学旅行などに対して、限られた環境の中でできることを見付け、工夫して行事を乗り越えてきた。9月の学園祭、10月上旬の修学旅行を終え、最後に学級で取り組む最大の行事が合唱発表会である。学園祭の体育部門では、運動に得意不得意がある中で、仲間を励まし合い、補い合いながら、最後は笑顔で終わることができた。一方、取組期間中に仲間と本音でぶつかり合えず、内面では心残りを抱えている生徒も少なくない。

3年間の集大成として、合唱発表会では、生徒一人一人が仲間のためにできる行動を考え、人として、そして学級としてよりよい成長ができる機会としていきたい。そのために、学園祭での取組を振り返り、そこから感じたことを合唱発表会の取組に生かせるように事前アンケートを取り、個人の考えを学級で共有することを通して、合意形成を図り、納得して合唱発表会の練習に取り組めるようにしていきたい。

2 学級活動(1)の評価規準


知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
学級や学校の生活上の諸問題を話し合っ解決することや他者と協働して取り組むことの大切さを理解している。 合意形成の手順や活動の方法を身に付けている。	学級や学校の生活をよりよくするための課題を見いだしている。 課題解決に向け、話し合い、多様な意見を生かして合意形成を図り、協働して実践している。	学級や学校における人間関係を形成し、見通しをもったり振り返ったりしながら、他者と協働して日常生活の向上を図ろうとしている。

3 本時までの活動の流れ

ポイント1

(1) 事前の指導と児童の活動


「目指す生徒の姿」に基づいて多面的・総合的に見取る


活動の場面	生徒の活動	指導上の留意点	◎目指す生徒の姿 【観点】(評価方法)
10月2日(金) 学級活動	合唱曲の決定	自分たちで納得した曲を歌えるように生徒主体で行う。	
10月7日(水) 帰りの会	学園祭の振り返りと合唱発表会に向けたアンケート調査に回答する。 	生徒自身のアンケート結果から議題と提案理由を決めることができるよう、アンケート作成段階から合唱実行委員に	◎アンケートに回答することで、学園祭での取組を振り返ったり、合唱発表会への意欲をもった

ポイント2 生徒にとって、切実感のある議題を取り上げる

		よる主体的な取組を支援する。	りして、学習への見直しをもととしている。【主体的態度】(アンケート, 観察)
10月16日 (金) 放課後	学級会の話合いの柱と流れ, 役割分担等必要な準備について話し合い, 1時間の計画を立てる。 ※合唱実行委員	役割を決めて話し合いの流れを考えさせる。	◎合唱実行委員の役割や話し合いの意義, 進行の仕方等について理解している。【知識・技能】(打合せシート, 観察) ※合唱実行委員

(2) 本時の指導と生徒の活動

	生徒の活動	指導上の留意点	◎目指す生徒の姿 【観点】(評価方法)
つ か む 2 分	1 今日の学級会の議題と提案理由を確認する。	・合唱実行委員の議題への思いを学級全員が理解し, 全員で考えていくべき議題であることを確認できるようにする。	
	「学級の目指す合唱発表会を確認し, そのためにできることを考える。」		
出 し 合 い 1 5 分	2 話し合い活動をする。 【議題Ⅰ】学園祭の振り返り 「学園祭を通して見えたクラスの良さや課題を出し合う。」 【議題Ⅱ】目指す合唱発表会について 「どのような合唱を作り上げ, どのように最後の合唱発表会を締めくくりたいか。」	・合唱実行委員が話し合いを進める。教師は生徒の主体的活動の支援に当たり, 合意形成の方向付けにかかわる助言は行わない。 ・具体的な取組を考える際の視点として, 学級全員が共有できるように助言する。	◎今の学級のよさや課題を見だし, それを踏まえてよりよい学級や合唱発表会について考えている。【思考・判断・表現】(発言, 観察, キャリア・パスポート)
比 べ 合 う 2 3 分	【議題Ⅲ】合唱発表会の取組について 「自分たちの目指す合唱発表会にするために, クラスとしてできることを考える。」 	・個人で考えた後, 班ごとに意見を整理してから発表する。 ・意見が出にくい場合, 議題Ⅱで共有した視点に基づいて話し合いを進めるように助言する。 ・多様な側面から取組を考えることができるように, 合唱練習をする際に発生しそうな問題を実行委員とともに想定しておき, 話し合い活動の前	◎目指す学級の姿や合唱発表会の実現に向けて, 学級の課題を踏まえて具体的な取組を考えている。【思考・判断・表現】(発言, 観察)

		に示すようにする。	
決める 10分	<p>3 学級の実践について合意形成する。 ※キャリア・パスポートに記入</p>  <p>4 学級会の振り返りをする。 ※キャリア・パスポートに記入</p>	<p>・提案理由や議題Ⅱで共有した視点を確認しながら出された意見を吟味し、合意形成につなげるよう支援する。</p> <p>・継続的な取組につなげるため、キャリア・パスポートに記入する。</p> <p>・話し合い活動そのもののよさや自己の変容や成長に目を向けることができるよう、教師が対話的にかかわる。</p> <p style="text-align: right;">ポイント 3</p>	<p>◎根拠を明確にしながらい発言したり、意見の相違について考えたりしながら合意形成に関わっている。【思考・判断・表現】(発言、観察、キャリア・パスポート)</p> <p><u>生徒自身が話し合い活動の価値を実感できる評価にする</u></p>

(3) 事後の指導と生徒の活動

活動の場面	生徒の活動	指導上の留意点	◎目指す生徒の姿【観点】(評価方法)
10月21日(木) 帰りの会	個人目標を考えキャリア・パスポートに書き、実践する。	学級で決めた取組を受けて個人の目標を立てることができるように対話的にかかわる。	◎学級で合意形成した内容を踏まえ、自らにできることを考え具体的な個人目標を立てている。 【思考・判断・表現】 (キャリア・パスポート)
11月6日(金) 帰りの会	キャリア・パスポートに合唱の取組途中の振り返りを書く。	2週間余り取り組んでみて正直に感じたことを書けるようにする。	◎学級の実践と個人目標を踏まえ、今後の改善に向けて様々な側面から振り返りを行っている。 【思考・判断・表現】 (キャリア・パスポート)
11月24日(火) 帰りの会	実践について振り返る。	キャリア・パスポートに振り返りの視点を用意するとともに、自他のよさや課題に対して多様な側面から考えることができるように対話的にかかわる。	◎実践を振り返り、自他のよさや課題への気付きを持ち、現在及び将来に向けての学校生活や日常生活に生かそうとしている。【主体的態度】 (観察・キャリア・パスポート)

4 指導と評価の一体化に向けて (授業改善のポイント)

(1) 自発的・自治的な活動の実現に向けた支援

【事前の活動】

○ 議題の選定

生徒が自分事として議題について考えることができるように、生徒が3年間の集大成として意識している合唱発表会を題材として取り上げるとともに、合唱実行委員が主体となり事前のアンケート調査を実施した。学園祭の振り返り・合唱発表会への期待等を項目にあげ、結果を整理して全員に示すことで解決すべき課題への見通しをもつことができた。

年 組 学級会 10月20日

司会【 】【 】

記録【 】【 】

ノート記録【 】【 】

議題 「3年2組の目指す合唱発表を確認し、そのためにできることを考える。」

・提案理由 2時30分～2時32分

最後の合唱発表は何で、どのような気持ちで歌うのかを全員
(共有物として)よい合唱にしようという思い。

議題Ⅰ 「白紙祭で良かった点・課題点について」 2時30分～2時33分

提示→これ以外にあれば出してもらう

議題Ⅱ 「どのような合唱を作り上げ、どのように最後の合唱発表会を終めようか。」 2時33分～2時48分

1人1人の役割、練習ワークシートの配布(個人で書く→個人で発表)

事前に書いたアンケート③を参考に、ワークシートに書いてもらい発表
ポイント:どんな合唱にどんな気持ちで歌うのか
*短冊にマーカーで書いて貼っていく。

議題Ⅲ 良かったことや課題を活かし、「 」な締めくくり

するために具体的にできることを考えよう 2時48分～3時15分

- ① 合唱発表会の練習で良かった点や課題:個人で書く→個人で発表
- ② 声の大きさ:全員の音量を、音取りが上手にできない、意見の相違
- ③ 上記に対する解決方法(具体的な歌)を話し合う→短冊で考える→短冊発表

発表を成功させるために、具体的にどんな風に取り組めばいいか。
どうすれば自分たちにとって思い出に残る合唱発表会になるのか、どういう方法を考えたら私たちが
目指す納得のいく、聞いてる人の心を打つような合唱になるか。

3 先生の話(評価と感想)

【事前の活動】

○ 学級会活動計画の作成

学級活動(1)においては、教師の適切な指導の下、生徒自身が役割分担しながら話し合い活動を運営していくことが基本であるため、話し合い活動の運営を担う生徒の実態に応じて事前に打合せを行う必要がある。そこで、本時においては▲1に示す打合せ用の資料を活用しながら話し合い活動の流れや時間配分、役割分担、注意する点等について活動計画を作成し、生徒の主体的な運営が可能となるように配慮した。

【本時 話し合い活動の場面】

○ 班や個人に対する教師の対話的な
かかわり

生徒の自治的・自発的な活動を尊重するため、教師は合意形成の方向付けにかかわる助言は行わないよう留意した。一方、合唱実行委員に対する話し合い活動の運営にかかわる助言とともに、班の話し合い活動や個人に対する対話的なかかわりを持ちながら、「目指す生徒の姿」に即した評価と生徒の学習改善につながるフィードバックを行った。

▲1 学級会活動計画作成資料

<私の I will 宣言> 10月17日(水)

クラスで決めた目指す合唱を達成するために自分は何をするか "I will" を考えよう
声の自分から出す。高い音がでなくても、一歩ずつ練習する。
周りの音をよく聞いて練習する。

合唱の取組の途中経過を振り返ろう 11月12日(木)

合唱発表会まで残り()日ですが、現在の取り組みを振り返って良い点課題点を書こう。
指揮者にも迫力があった。2年生は一体となって歌を歌っている感じが一日でわかる
くらいあった。3年生も、「みんなの練習を応援しているんだ」と見えるようになってきた。
「そのために」ができてきた感じがした。

課題点に向けて具体的な取り組み方法を考えよう。
グループに分けての練習をする(見合う、声の合わせ)などができたら
指揮者を見ながら練習する。

合唱発表会を振り返って 11月15日(日)

- ①クラスで決めた歌組や個人の目標を達成できたか。どんな点で達成できたか。
達成できた。最初は高い声が出なかったけど、ソラソラの音の助けで出せるようになった。
- ②一番頑張ったこと、自分が成長できたと思うこと
周りの音を気にせず、自分から声を出せたこと。高い声が出なくても、神の音
歌い続けたこと。
- ③印象に残った出来事
一番最後に練習した「ヒカリ」が、心に残っている。先生達にもほめられ
友達にもほめられて、とてもうれしかった。
- ④集団の一員として、どのような行動ができたか
「みんな、ソラソラ、ヤラ」という声は、はしゃぎ回った。
自分から声を出せたことができた。
- ⑤仲間のおいところ(見習いたい姿)
自分から大きい声を出していること。
素直にやうやうといたう、やめること。
⑥今回の経験を今後どのように生かしていきたいか
今日知った3-2の良いところを卒業まで生かしていきたいし、
悪いところはこれから直していきたい。お互いに高め合っていきたい。

【本時 合意形成の場面・事後の活動】

○ キャリア・パスポートの活用

(▲2 参照)

本時では、合意形成の内容や話し合い活動の振り返りを記録するために、学校行事のキャリア・パスポートを活用した。生徒はキャリア・パスポートの記録に基づいて事後の活動における実践を行い、さらに振り返りを通して自分や他者、学級のよさに気づき、学級への所属感や卒業までの生活への新たな意欲をもつことができた。

なお、キャリア・パスポートの各項目に記述された内容は、「目指す生徒の姿」に基づいた評価に活用し、生徒の学習改善と教師の指導改善につなげた。

▲2 キャリア・パスポート